

# 三高雲南会会報

令和8年3月発行

## ご挨拶



雲南会会長  
西川 徹 (三十一期)

昨年の総会で会長に就任しました31期卒業生の西川です。よろしくお願ひします。  
昨秋から始まった朝ドラ「ばけけけ」で認知度があがっている鳥根県ですが、1月6日に雲南市は震度5弱の揺れを観測しました。これも全国ニュースで取り上げられ注目を集めることになりました。これまで大きな地震を受けた記憶が少なかったのですが2000年の鳥取西部地震や2018年の大田地震があり、約十年に一度の周期で発生しているようです。原稿を書いているときには31年前に発生した阪神大震災の追悼についてのニュースが流れています。皆様のお手元に届くころには東日本大震災のことが話題になっていることでしょう。今回の地震は長周期地震動の周波数が比較的短くて家屋被害が少なかったようですが内陸型地震が増加傾向にあり、地震の活動期であり南海トラフ地震が近づいて

## タイムカプセル



校長  
岡 秀樹

先日、雲南市内の小中学校の校長先生方との懇親会に参加した際、とても印象に残った言葉があります。「子どもは校舎が古くても全然気にしないんですよ。大人は設備のことをあれこれ言うんですけど、子どもからの不満は聞いたことがありません」と。

私はこの言葉がとても腑に落ちました。というのも、この正月に小学校の同窓会があり、実に半世紀ぶりに再会をしたのですが、当時の記念写真を見ながら私を感じたことと通ずるものがあつたからです。みんな笑顔で写る背後の校舎のたたずまいにショックを受けました。思わず「校舎ってこんなポロポロだったっけ？」という言葉が出てしまうほどでした。しかし、あくまでもこれは現在の教員としての視点です。当時の気持ちを思い起こしてみると、窓が

いると考えられているようです。避難訓練や地震対策を日ごろから十分に行って安全に過ごせるように工夫していくことが必要になると改めて考えさせられたところです。

雲南会の活動について卒業後少なからず関わらせていただけてきましたが、知らないことがたくさんあります。会長になって受け取った生徒からの手紙もそうでした。部活動で中国大会に出場し雲南会の支援を受けたお礼でした。今後の活躍を期して鍛錬をする決意が記されており大変感動しました。これからも多くの生徒が活躍できるように支援していくことが大切になります。また県外からの留学生への支援を行うなど雲南会の活動は会員の皆様にもっとお知らせする必要があると思っています。

手紙を書いてくれた生徒の学年までが開校百周年記念事業に参画していると説明を受けました。百周年の式典、記念事業は終わり記念誌の発刊をもって一区切りとなりますが、会員として節目の百周年を手伝わせていただいて今感じていることがあります。

記念事業の実行委員会です示された予算額は大きな金額でありました。準備が進められている中で期限が迫っているころには予定されなかなかに閉まらなかつたり、階段の床板の間から下の階が見えたり、古い校舎であることは分かっていたものの、それに対するネガティブな感情は全くありませんでした。それどころか、温もりのある木造の校舎を愛おしいとすら思っていたのです。特に、階段の踊り場にある図書室は大のお気に入りの場所でした。悪戯をして職員室前に立たされたこともあつたかな(汗)。この校舎はほどなく新校舎に建て替えられました。おそらく老朽化の限界のところまで運用されていたのでしょう。跡形もなくなつてしまつた旧校舎の場所を訪れたとき、とても寂しい気持ちになつたことをよく覚えています(現在は統合され、校名もなくなつてしまいました...)。

さて、県立学校校舎については、長寿命化をはかつていくというのが県の方針です。三刀屋高校の現在の校舎は、昭和四十六(一九七一年)年に全面改築事業完成、リフレッシュ工事が平成四(一九九二年)年、そして、先ほど述べた長寿命化の工事が平成三〇(二〇一八)年に行われており、現校舎は五十五年目を迎えています。現時点で、新しい校舎のプランはありません。

た寄付が半分にも満たない額しか集まつていない状況でした。説明では集まつた寄付金額に見合つた記念事業を行うとのことでした。そうした中で山根成二さん、梅木秀昭さん、松原俊博さんの三人が中心となり三刀屋支部、木次支部、掛合支部の役員など約三十人が集まり企業を中心として新たに寄付をお願いする活動が始まりました。この活動の具体的な内容は実行委員会や役員会等で説明がありま

せんでしたので詳細は分かりませんが、一気に寄付額が増え当初考えていた記念事業が行える形が整つたと思つています。この時、先輩会員方の日ごろの連携と地域貢献の大きさを改めて感じました。私は知事をはじめ多くの来賓が来られた式典や高校玄関前にある記念碑よりも大きな感銘を受けました。

このことは記念誌などに載るような出来事ではないですし歴史に埋もれてしまうことになりませんが、私にとつては会長を引き受けるきっかけであり、今後百年に向けての小さな一歩の糧にしていきたいと感じています。

これから卒業され新たな歩みを始められる新会員の皆さんや在校生の皆さん、未来の三高生徒を応援していきたいように活動していきますのでご協力をお願いします。

ただその一方、この校舎で青春の日々を過ごされた卒業生の皆さまの心情を考えてみると、久しぶりに学校を訪れて「おお、まだ残つてるのか!」という場所があるのは大切なことではないか、とも思うのです。実際に、学校を見に来たいという卒業生の方のリクエストを受けることがあるのですが、まさにこの青春のひとときへのタイムスリップ感を味わいたいからではないでしょうか?

しばらくの間建て替へはない、ということ、卒業生の皆さまの懐かしい場所、お気に入りの場所がタイムカプセル的に保存される、とポジティブに考えることもできます。「長寿命化」の精神に則り、現在校舎を使用している生徒・教職員一同、できるだけ大切にしていきたいです。

という原稿を書き上げてから正面玄関前のユリノキを見上げました。このシンボルツリーは一世紀を超えてこの場所にあり続いています。人間の営みがどのように見えているのか、ぜひ聞いてみたい気がします。三刀屋高校百年の歴史をすべて見てきたユリノキの圧倒的な存在感に敬意を表しつつこの拙稿を閉じます。

## 雲南会総会を終えて

平成6年3月卒業 高46期 壽 信也

昨年度三刀屋高校が開校百周年という節目を迎え、新たに歴史を刻み始めるこの年に雲南会総会・懇親会の実行委員を務めさせていただいたことに、何かの縁を感じております。

私たち高校四十六期は実行委員の話を聞いて、まず準備や運営を手伝つてくれる仲間を集めるところから始まりました。多忙な時期に協力依頼することはとても心苦しい思いでしたが、協力してくれた仲間は快く引き受けてくれ、大きな安心感を頂きました。計画や準備、運営の場において、仲間たちの存在は非常に頼もしいものでした。準備段階では、様々な課題点を整理し、準備のプランをたてたり、細かい資料を速やかに作成してくれたり、みんながそれぞれの強みを出し合い、すばらしい連携プレーを進めることができました。そこには高校の頃のなつかしい面影が残りましたが、洗練された強さを持った仲間の姿がありました。彼らの成長した姿を間近で見られたことは、実行委員を引き受けて本当に良かったと思える瞬間でした。

また、雲南会総会の日を迎え、感じたことは、「伝統の継承と新しい繋がり」の創出でした。歴史ある本会の重みを感じると同時に、世代を超えて現役時代の思い出話に花が咲いたり、高校生によるパフォーマンスを温かく見守る皆様の姿を拝見したりし、この会が持つ世代の繋がりを再確認しました。運営を通して、普段接することのない幅広い世代の先輩方とお話しできたことは、私たち実行委員にとつても貴重な経験でした。至らぬ点多々あつたかと思いますが、皆様の温かい励ましのお言葉が何よりの支えとなりました。

無事に大役を終え、今は心地よい充足感に包まれています。本総会の成功は、ひとえに会員皆様の母校への愛着の賜物です。今回の経験を糧に、今後も一卒業生として雲南会と母校のさらなる発展に貢献していきたいと思ひます。



# 三刀屋高等学校開校100周年記念事業 施設整備事業報告

## 探究ルーム整備(総合学科棟 旧小講義室5・6改修)



ホワイトボードと電子黒板



後面ホワイトボード



キャスター付机・椅子、フロアカーペット



電子黒板



プロジェクター

## 調理室エアコン新設



## トレーニング室整備



レッグカール



パワーラック

## 100周年記念碑設置



## DXルームの紹介

本校では、令和6年度に文科省から「高等学校DX加速化推進事業」(DXハイスクール事業)の指定を受け、旧LL教室を新たに「DXルーム」として改修しました。この教室には、ハイスペックPCを始め、3Dプリンタやレーザーカッター、ドローン、ガーメントプリンター、360度カメラ、ハイスピードカメラ、VRゴーグルなどの機材が整備され、生徒たちの探究学習や情報の授業などの場面で活用されています。DX機器を活用し、生徒たちの学びを深められるよう支援しながら、デジタル人材の育成に努めていきます。



## 部活動紹介

### 野球部 / キャプテン 池田 流季

野球部は2年生10名、1年生17名の計27名で「甲子園で校歌を歌う」という目標を掲げ活動しています。時にはうまくいかないこともあります。私たちはくじけることなくより高い意識を持ち日々チームとして成長してきました。私たち野球部は多くの人に応援してもらえるチームになるため、部活動だけでなく日々の学校生活も大切にしています。「誰にでもできることを、誰も真似できないほど当たり前になり続ける」。これは決して簡単なことではありませんが、この積み重ねこそが更にチームとして成長をうながすのではないかと思います。「甲子園で校歌を歌う」という目標を必ず達成しますのでこれからも応援をよろしくお願いいたします。



### 柔道部 / 主将 景山 大和

私たち柔道部は、2年生2名という少人数ながら、顧問の富田先生・吉廣先生、外部指導者の星野さんの熱心なご指導のもと、屈強なフィジカルと強いメンタリティの習得を目標に、日々練習に励んでいます。

部の目標は、県大会での上位入賞です。部員が少ないという課題はありますが、他校の選手やOBの方々、中学生との合同練習を行うことで、その不足を補っています。また、普段の練習メニューを自分たちで考え、課題を意識しながら取り組むことで、技術力の向上だけでなく、柔道に向き合う姿勢そのものを見直すことができている。人数の多い学校に比べると練習の幅は限られますが、一人ひとりの課題にじっくり向き合える点は、私たちの強みです。

現在の大きな課題は、筋力とメンタル面です。県内の強豪校の選手は筋力が強く、技術以前に当たり負けしてしまうことがあります。その差を埋めるため、筋力向上を意識した練習に力を入れています。また、メンタルの強さも勝敗を左右する重要な要素です。気持ちの面を鍛えることで、弱気にならず、自分から攻める柔道を展開できるようになります。

これからも、応援やサポートをしてくださる方々への感謝を忘れず、努力を続けていきます。仲間と切磋琢磨しながら目標達成を目指しています。



## 雲南会決算報告

### 令和6年度 島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

| 【収入の部】 |           |           |           |                             |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------------------------|
| 項目     | 予算額       | 決算額       | 比較増減      | 摘要                          |
| 入会金    | 2,090,000 | 2,030,200 | △ 59,800  | 会費5,000円                    |
| 特別会費   | 450,000   | 150,000   | △ 300,000 | 高36期                        |
| 活動協賛金  | 504,724   | 504,724   | 0         | 活動協賛金(3月31日現在、306名より)       |
| 繰入金    | 681,699   | 681,699   | 0         | 特別会計より(100周年に年度当初活動資金がないため) |
| 雑収入    | 577       | 3,024     | 2,447     | 寄付金、預金利息                    |
| 合計     | 3,727,000 | 3,369,647 | △ 357,353 |                             |

| 【支出の部】 |           |           |           |                            |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------------------------|
| 項目     | 予算額       | 決算額       | 比較増減      | 摘要                         |
| 総会費    | 400,000   | 400,000   | 0         | 総会経費(高45期)                 |
| 支部総会費  | 270,000   | 240,000   | 30,000    | 東京・大阪・木次・日登・斐伊・掛吉田碩原・温泉・鍋山 |
| 活動費    | 1,500,000 | 1,500,369 | △ 369     | 会報発送経費・サラト11,782通発送        |
| 印刷費    | 320,000   | 381,920   | △ 61,920  | 会報印刷経費・木次印刷12,400部         |
| 役員会費   | 10,000    | 0         | 10,000    |                            |
| 卒業記念品  | 66,000    | 63,087    | 2,913     | 証書ファイル113冊                 |
| 慶弔見舞金  | 10,000    | 0         | 10,000    |                            |
| 通信費    | 140,000   | 10,963    | 129,037   | 郵券代、資料発送料                  |
| 旅費     | 550,000   | 499,515   | 50,485    | 総会帰省5名、東京、大阪出席旅費(各2名)      |
| 事務費    | 5,000     | 0         | 5,000     |                            |
| 雑費     | 30,000    | 39,716    | △ 9,716   | 卒業アルバム保存用、クラス写真、お土産代       |
| 予備費    | 426,000   | 14,006    | 411,994   | 会長1年分の印刷郵券代等               |
| 繰出金    | 0         | 220,071   | △ 220,071 | 令和6年度の繰越金を特別会計へ            |
| 合計     | 3,727,000 | 3,369,647 | 357,353   |                            |

収入総額 3,369,647円 - 支出総額 3,369,647円 = 差引残高 0円

## 活動協賛金の報告

令和6年度  
「雲南会活動協賛金」  
R6.4.1~R7.3.31

292名 754,811円

令和6年度に振込をいただきました協賛金は、令和7年度の会計に繰り入れ、活動費に充てさせていただいています。三刀屋高校部活動への援助や卒業記念品、総会の運営費等に使用させていただきます。ありがとうございました。

振込用紙を同封しております。活動協賛金を募りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

雲南会事務局 | 島根県雲南市三刀屋町三刀屋912-2  
三刀屋高校内 | TEL(0854)45-2721 FAX(0854)45-5630

### 令和6年度 島根県立三刀屋高等学校雲南会 特別会計決算書

| 【収入の部】 |           |           |          |        |
|--------|-----------|-----------|----------|--------|
| 項目     | 予算額       | 決算額       | 比較増減     | 摘要     |
| 前年度繰越金 | 4,871,211 | 4,871,211 | 0        |        |
| 繰入金    | 300,000   | 220,071   | △ 79,929 | 一般会計残金 |
| 雑収入    | 9         | 1,668     | 1,659    | 預金利息   |
| 合計     | 5,171,220 | 5,092,950 | △ 78,270 |        |

| 【支出の部】 |           |           |           |                |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------------|
| 項目     | 予算額       | 決算額       | 比較増減      | 摘要             |
| 激励金    | 500,000   | 331,000   | 169,000   | 中国・全国大会出場      |
| 繰出金    | 3,681,699 | 3,681,699 | 0         | 周年事業300万、一般会計へ |
| 予備費    | 989,521   | 0         | 989,521   |                |
| 合計     | 5,171,220 | 4,012,699 | 1,158,521 |                |

収入総額 5,092,950円 - 支出総額 4,012,699円 = 次年度繰越金 1,080,251円